

社会資本整備審議会 道路分科会
平成 29 年度 第 2 回中部地方小委員会

1. 日 時 平成 30 年 3 月 9 日（金） 10:00～11:00

2. 場 所 中部地方整備局 3 階 整備局大会議室

3. 出席者
[委員]

板谷	明美	三重大学生物資源学研究科 准教授
○内田	俊宏	中京大学経済学部 教授
倉内	文孝	岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授
栗原	大介	(一社) 中部経済連合会 常務
高木	朗義	岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授
◎中村	英樹	名古屋大学大学院環境学研究科 教授
山田	恵里	名古屋市立大学大学院経済学研究科・経済学部 講師

※敬称略、五十音順 ◎は委員長 ○は副委員長

4. 議 事

平成 30 年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価

・一般国道 19 号 瑞浪恵那道路（恵那工区）

議事概要

- 当該道路は、交通の円滑化や多発する正面衝突事故などの課題解決に大きく貢献する道路である。
- 道路の機能分化により、現道 19 号が安心して通行できるようになるなど、B/C では表せない効果も大きい。
- 国道 19 号は東濃地域の動脈であり、他に迂回もなく、残り 4.3 km の整備は必要。
- リニア開業による時間短縮は大きく、馬籠宿・妻籠宿はシニア層の交流人口拡大など、観光による波及効果は大きい。
- リニア中央新幹線の開業の効果を広く波及させるためにも、早期整備が必要である。

以上